

オーストラリア周辺の動物 【哺乳類・鳥類】

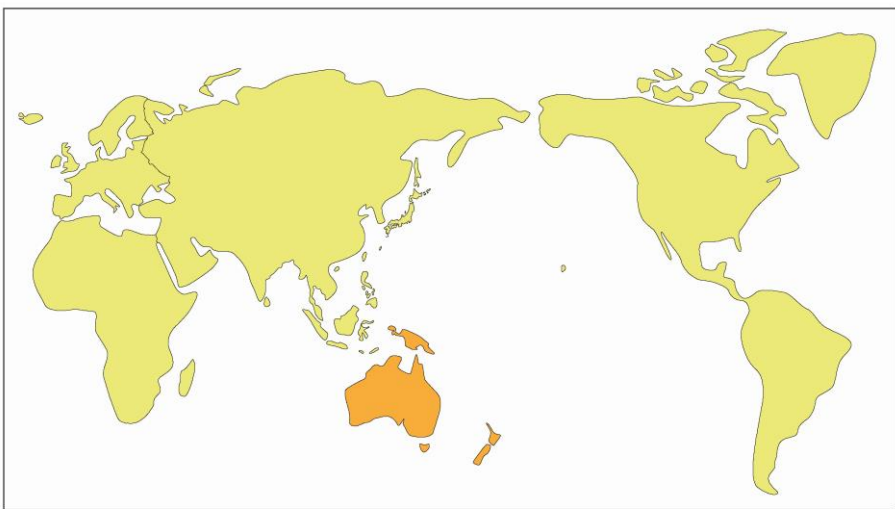


Photo : Suzaka Zoo

アカカンガルー 須

分類：有袋目カンガルー科
 英名：Red Kangaroo
 学名：Macropus rufus
 分布：オーストラリア内陸部
 体長：オス95~140cm メス75~110cm
 尾長：オス70~100cm メス65~90cm
 体重：オス25~85kg メス20~35kg

生態：メスのお腹には子どもを育てるための袋（育児嚢）がある。お乳は4つあり、袋は赤ちゃんが過ごしやすくなっている。一円玉サイズで毛が生えていない状態で生まれた赤ちゃんは、自分の力で一生懸命母親の袋の中に入り、一年後に袋から外にでる。



Photo : Chatsuyama Zoo

コモウォンバット 茶

分類：有袋目ウォンバット科
 英名：Common Wombat
 学名：Vombatus ursinus
 分布：オーストラリア南東部
 タスマニア島
 体長：70~115cm
 尾長：2.5~6cm 体重：19~35kg
 生態：地中に巣穴を掘り生活する。なわばりをつくり、単独で行動する。昼間は穴の中で寝ていて、夜になると、外に出て餌の草などを探して食べる。メスの育児嚢は、入口が後ろ向きになるようになっている。ウォンバットとは、現地の言葉で「平たい鼻」という意味。



Photo : Iida Zoo

パルマワラビー 飯

分類：有袋目カンガルー科
 英名：Parma Wallaby
 学名：Macropus parma
 分布：オーストラリアのニューサウスウェールズ州
 体長：59~64cm
 尾長：41~43cm
 体重：3.5~6kg

生態：小型のカンガルーをワラビーと呼ぶ。夜行性で、やわらかい草や木の芽を食べる。下草の多い森林地帯などで生活。普段は単独だが、時に2~3頭くらいの少数の群れで行動することもある。絶滅が心配されている種。



Photo : Komoro Zoo

エミュ 小飯

分類：ヒクイドリ目エミュ科
 英名：Emu
 学名：Dromaius novaehollandiae
 分布：オーストラリア
 頭高：160~200cm
 体重：40~60kg
 生態：平原や砂地に生息。主に昆虫、果実、種子を食べる。翼が20cmくらいに退化しており飛べないが、時速40~50kmで走ることができる。羽が鳥の間では唯一、1本の羽軸から分かれるように2本の羽が生えている。メスは産卵すると巣を離れ、オスがタマゴを温めたり、ヒナを育てたりする。卵は濃い緑色。ヒナには縞模様がある。



Photo : Iida Zoo

フクロモモンガ 茶飯

分類：有袋目フクロモモンガ科
 英名：Sugar glider
 学名：Petaurus breviceps
 分布：オーストラリア、パプアニューギニア、インドネシア
 体長：16~21cm 尾長：12~15cm
 体重：90~150kg
 生態：飛膜をひろげて木々の間を滑空する。夜行性で、樹液や果汁などを食べる。背面はパールグレイで、鼻筋から頭頂部・背中にかけて黒いラインが入っている。メスには腹部の育児嚢がある。



Photo : Johyama Zoo

コクチョウ 城

分類：カモ目カモ科
 英名：Black Swan
 学名：Cygnus atratus
 分布：オーストラリア
 全長：110~140cm 翼開長：200cm
 体重：3.7~8.7kg
 生態：オーストラリアの固有種で、西オーストラリア州の州の鳥。黒い羽と赤い嘴が特徴。主に水草を食べる。つがいは、一生の間継続し、草を積み上げた直径1.5mの巣を作り、繁殖する。



Photo : Matsumoto Alps Park

オカメインコ 松須 (家禽種)

分類：オウム目オウム科
 英名：Cockatiel
 学名：Nymphicus hollandicus
 分布：オーストラリア
 体長：33~40cm 体重：80~95g
 生態：農耕地や明るい林に生息し、地上の草の種子を食べる。頬に丸い大きな黄赤色の斑がある。オウムの仲間では最小。飼鳥としてはポピュラーで、さまざまな改良品種があり、人にもよくなつく。



Photo : Matsumoto Alps Park

セキセイインコ 松須小 (家禽種)

分類：オウム目インコ科
 英名：Budgerigar
 学名：Melopsittacus undulatus domestic
 分布：オーストラリア
 体長：18cm 体重：100g前後

生態：野生のセキセイインコは、乾草地に生息しており、大群で移動し、地上で草の種子を食べる。樹の穴に巣を作り繁殖する。名前の由来は、江戸時代に輸入された際に、背中が黄色と青色だったことから「背黄青（せきせい）」だったといわれる。今では、さまざまな品種が生み出されている。

ピセイインコ 小

分類：オウム目インコ科
 英名：Red-rumped Parrot
 学名：Psephotus harmatonotus
 分布：オーストラリア南東部
 全長：25~28cm
 体重：約60g
 生態：インコ科の鳥には珍しく、非常に美しい声で鳴く。ペアや群れで採食し、エサはイネ科などの草本植物の種が中心。野生では、緑色の個体が多く、飼育下ではさまざまな色彩変異がある。